

音楽に寄せて～感謝～

声楽指導者 吉田 稔



私はフリーランスの声楽指導者として、日々全国各地を周り数年が経ちましたが、その間、音楽仲間の皆様の温かな心、千人を超える生徒さんの歌声、四季折々の感動の大自然の数々に出会いました。

一日一日の各地での出来事は、僕にとっては新鮮で刺激的で、感動の連続でした。写真を撮ることが大好きで(と言いましても、携帯電話での撮影ではありますが)、全国各地で出会った様々な風景を Facebook で毎日、紹介させて頂いております。東の空が少しずつ明るくなるしのめの時、目の前には霊峰富士の絶景が広がり、凄まじい太陽のエネルギーを体全体で受けた感動の夜明け。

教師をしていた頃は、忙しさにかまけて帰省したこともありませんでしたが、フリーランスになり故郷島根にも足を運ぶようになり、数十年ぶりに宍道湖の畔で様々な思いをめぐらしながら見上げた黄昏時の大空。季節ごとの色とりどりの花や小鳥のさえずり、そして何より生徒の皆さん方の素敵な歌声を聴かせて頂く中で、改めて五感で呼吸をする大切さを痛感し、「呼吸」こそが歌うことであり、哲学であり、信仰であり、そして生きることであるなあと気づき始めた今日この頃、コロナの大騒動となり今までの幸せな生活が一変してしまいました。

様々な思想や個性あふれる人々がひとつの空間に集い、息を使い、仲間と共に心の内を表現していく合唱芸術やら、空気を振動させて言葉を音に託す声楽は、このコロナ感染防止の観点からも大変に危険な行為ということで、自粛せざるを得なくなり、今まで当たり前のように毎日聴いていた生の人間の歌声が一瞬にして消えてしまいました。

予定もほとんどがキャンセルとなり、スケジュール帳も白紙となり、莫大な経費の支払いにも困り、先行きが全く見えず、気付けばだんだんと心も荒み、マイナスの発言も多くなってきました。このような出来事があっても数年は、仕事等しなくても生活出来るだけの蓄えでもあるのならば、きっと余裕もあり、焦ることもなかった

のかもしれませんが、現実は大変に厳しく、今の状況が続けば、あと数ヶ月持つか？と弱気になる自分がいたことも事実です。

このような時期ですから、多くの方々がストレスフルとなり、心も疲れ、些細なことで、言い争いになったり、SNS ではデマが横行したり、感染された方に対して大きな差別を生み出したり、皆が自分本意となり、人のことを考えられず、残念な出来事も増えてきたように感じておりました。



しかしながら、そのような時こそ、歌の大切さ、素晴らしさを再認識しました。当分の間は、これまでのような人々が集って歌うということは、難しいかもしれませんが、このまま何十年もその場を奪われたわけではありません。少しの間の辛抱です。

もちろん生の演奏が最善ではありますが、この言わば冬の時期こそが、春への憧れの気持ちを倍増させ、各自の音楽に対する情熱を耕す絶好のチャンスでもあります。春になれば、またたくさん笑顔と共に色彩豊かなハーモニーを奏でられるのです。

どうせならこの今を楽しもう、様々な工夫を重ねて音や人との関わりを絶やさないようにしようと前向きな気持ちを持つようになりました。現実には厳しいままではありますが、しかしながら、そんな私を救ってくださったのは、たくさんの方々の温かなメッセージやら、支援やら、そして何より音楽の力でした。

皆さんもこのようなときこそ、是非とも歌いましょう、口ずさみましよう、素晴らしい詩を読みましよう。環境的に声を出せない方々でも、心の中で歌ってください！



私は、今のこの状況を考え、いち早くウェブレッスンを始めました。具体的にどのような方法やらツールが良いかということに関しては、たくさんの方々が紹介しておられますので、ここには記しませんが、様々な工夫により音楽との関わりを絶やさないようにして頂きたいと思います。

ご家庭のネット環境やご事情により、ウェブレッスンが不可能な方に対しては、演奏の動画や録音をメールやら YouTube の限定公開等で、送って頂きましてそれに対して、私が動画にて心を込めてアドバイスをさせて頂き返信するレッスンやら、歌えない方は発音だけでも録音してもらったり、またそれも難しい生徒さんに対しては、私が YouTube にレッスン動画をあげさせて頂き、送らせて頂いております。

一つウェブレッスンの利点をあげさせていただきますと、特に私のレッスンは、発音(唇の使い方や舌の位置)についてかなりこだわるのですが(声道形状が声帯にかなり影響を及ぼすという理論)、ウェブレッスンの場合、対面レッスン以上にお互いの表情やら調音器官の使い方を確認することが可能であり、たくさんの新しい発見をされ飛躍された生徒さんがほとんどで、リピーターも多いです。

やってみるまでは、抵抗があったり、食わず嫌いの方々もいらっしやり、一向に生徒さんが増えませんでした。最近、少しずつ予約が多くなってきました。全国各地のどこにいても手軽にそして気軽に出来るウェブレッスンも一度は、是非とも経験して頂きたいと思います！



今だからこそ出来る経験、今だからこそこれまで以上に暮る歌いたい気持ち、今だからこそわかる仲間の大切さ。

このコロナ問題により、たしかにマイナス面もありましたが、それらを何とかプラスに転化していきたいものですね。辛いときこそ、笑い、口ずさもうではありませんか？ 人に音楽に心から感謝です。

昔、イェルグ・デームス先生のピアノでアンコールでよく歌わせて頂いた、大好きなシューベルトの「音楽に寄せて(An die Musik)」の歌詞を記させていただきます。

Du holde Kunst, in wieviel grauen Stunden,
Wo mich des Lebens wilder Kreis umstrickt,
Hast du mein Herz zu warmer Lieb entzunden,
Hast mich in eine beßre Welt entrückt!

～Du holde Kunst, ich danke dir dafür!～

汝、優美な芸術よ、どれほど多くの灰色の時間、私が荒れ果てた人生に惑わされた時、あなたは私の心に愛の灯火をつけてくれ、より善い世界に連れていってくれたことか！

優美な芸術よ、私はあなたに感謝します！

< 完 >



『音楽に寄せて』は、シューベルトが 1817 年に作曲した歌曲。友人のフランツ・フォン・ショーバーの詩に作曲。かつては『楽に寄す』と訳されていた。

音楽に対する愛と感謝の念を率直に表現した作品で、シューベルトの傑作の一つに数えられ、ディートリヒ・フィツシャー＝ディースカウの言葉を借りれば、この曲で二人の共作は「不滅のものとなった」。また、二人の友情の永遠の記念碑ともいわれる。

